

## 市政報告 いこいの家で熱中症予防 精神疾患への支援充実を

公明党川崎市議会議員団 浜田まさとし



**浜田まさとし**

環境委員会所属

川崎区選出 6期

市政へのご意見・ご要望は

[hamada@komei-kawasaki.com](mailto:hamada@komei-kawasaki.com)

044・200・3361

12月議会では、熱中症対策や精神疾患への支援強化などを求めました。いこいの家への冷水機で高齢者を熱中症から守れ、熱中症で救急搬送された人の半分が高齢者であったことから、「いこいの家」に冷水機(ウォーターサーバー)の設置を求めました。環境局長は「今までの冷水機設置を、5月以降は、こども文化センターに55台、いこいの家に10台など、98台へ増やした結果、半年間で500ミリットルのペットボトル34万本分の利用がありました」と答弁しました。「いこいの家」の公共施設を夏の暑さから避難場所(クーリングシェルター)とするこ

も検討します。め、一力所でさまざまな

と答弁しました。保険加入でケガに対応しやすいスポーツ大会へある野球大会でケガをした人が出たものの、チームが保険に入っていないため、高い医療費を払うことになったことから、スポーツ大会は保険加入を図って開催すべきと訴えました。市民文化局長は「野球などのスポーツ大会は、それぞれの競技団体に保険加入の重要性を書面でしっかり伝え、ケガや事故への対応を強化してまいります」と答弁しました。

おみやみコーナー設置で遺族の負担を減らそう家族が亡くなった時に、ご遺族が市役所の複数の窓口を回らねばならず負担になっているため、一力所でさまざまな

手続きができる「おみやみコーナー」の設置を求めました。市民文化局長は「ご遺族の高齢化や単独世帯の増加などにより、手続きする人の負担が懸念されますので、設置へ向けて検討します」と約束しました。

精神疾患患者への支援で着実に医療につなげよう精神疾患があると思われる方とその家族が孤立しないよう、区役所と総合リハビリテーション推進センター(川崎区日進町・ふくふく2階、電話番号：201・3242)などが連携し、医療につなげる関わりを強めようとしてきました。

日本一くらしやすい川崎をめざしガンバリマ